

普及活動情勢報告（令和4年6月分）

高吾農業改良普及所

SAKAWAニラ女性部の活動内容を検討しました



5月27日、SAKAWAニラ女性部（昨年度末に名称決定）6名が今年度の活動について検討をしました。

普及所は、昨年度の活動のとりまとめや活動に対するアンケート結果を報告しました。

部会員から、「他産地のそぐりセンターの運営を知りたい。」「女性部員の育苗状況を見学したい。」「ニラ料理のレシピを完成させたい。」等積極的な意見がでました。

検討会を開いたことで、部会員から学習したい内容を聞き取ることができ、自己の経営の改善に繋げていく意欲がうかがえました。

普及所では、今後も部会員自らが取り組みたい活動ができるように支援していきます。

夏秋高糖度トマトの出荷始まる



仁淀川町で栽培されている夏秋高糖度トマト（1戸）の出荷が5月26日から始まっています。朝晩の冷え込みが続いているため、例年と比べると4～5日遅れの出荷となっていますが、果実の糖度が平均8度となっており良い滑り出しとなっています。

生産者からは、これから梅雨に入るので、「糖度を落とさない・収量を落とさない管理」について、今後どういったことに注意しなければいけないのか等の質問があり、施肥の方法、ホルモンなどの使用について助言を行いました。

普及所では、今後も夏秋トマトの安定生産のため支援をしていきます。

ヒューマンライフ土佐の総会が開催されました



6月16日越知町民会館で「（農）ヒューマンライフ土佐」の総会及び薬草栽培講習会が開催され、町内外の生産者103名が参加しました。普及所からは本年度のミシマサイコの生育が遅れ気味であるため、防除・除草作業の徹底を呼びかけました。また、サンショウ、ダイダイの出荷説明会も行われ、この機会に普及所からはサンショウのさび病・アザミウマ類・ハダニ対策、ダイダイのかいよう病・そうか病対策を説明しました。

生産者からは薬剤散布後、対象病虫害の増加が抑え込めない場合の対策等の質問がありました。

普及所は今後も薬用作物の栽培を支援していきます。